

平成30年（2018年）12月定例議会本会議（12月14日）

### 教育福祉常任委員長報告（請願）

ただいま議題となりました平成30年請願第11号 市立うわまち病院移転計画の再考及び上町地区の包括的地域振興対策の検討・策定についてにつきまして、教育福祉常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、12月4日の会議において、陳述人より意見陳述を聴取した後、関係理事者から所見を聴取し、質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、病院移転後に周辺地域が廃墟化するのではないかとこの地元の不安の声に対する市の受けとめ、移転計画の検討と並行して上町地区の地域振興対策を検討する必要性、説明会において住民の意見を聴取する機会の有無、現地建てかえとした場合に想定されるコスト及び作業年数、地域振興対策の検討に当たっては関係部局と十分に情報共有を行うことの重要性、移転の報道発表前に説明がされなかった地元住民の思いに対する認識、地域医療構想において市立2病院の果たすべき役割についてであります。

次いで、討論において、加藤ゆうすけ委員から、「請願項目に関し、うわまち病院移転計画の再考については、2次医療圏の医療体

制も踏まえた市立2病院のあり方を分析した結果、計画の再考は難しく、早期の建てかえを実現するためには、移転建てかえはやむを得ないものとする。また、地域住民にしっかりと説明をして、より多くの住民の理解を得る努力をすることについては、市は当然に実施すべきことであり、すでに説明会を複数回重ね、なおかつ再度の説明会の開催を予定していることから、採択には及ばない。上町地区の地域振興対策については、市立うわまち病院の移転の是非だけでなく、地域全体・市全体の経済活動を捉え、住民と一体となって考えるべきものであり、一地域の施設の移転のみをもって振興対策を考えることはなじまない。以上の理由により本請願に反対する」旨の意見があり、採決の結果、平成30年請願第11号は、願意のうち、うわまち病院の改築・移転に関して地域住民にしっかりと説明し、より多くの住民の理解を得る努力をすること及び上町地区の包括的な地域振興対策を検討・策定することについてのみ妥当と認め、賛成多数で一部採択すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。